

いざという時、本当に助けとなるのは
ご近所（助）の助け合いです。

平成26年12月10日
せんげん支隊 情報・広報班

早いもので今年も残りわずかとなりました。年の瀬を迎え、皆様なにかと気忙しくお過ごしのことと存じます。この1年、皆様にはせんげん支隊の活動に何かとご協力をいただきありがとうございました。来年も支隊への一層のご協力よろしくお祈いします。

1 11月の活動報告

- ① 第8回支隊長会議（11/3・月）
- ② 支隊便り第17号発行（11/8・土）
- ③ 地域防災学習交流会（11/9・日）
- ④ 支隊防災訓練（11/16・日）
- ⑤ 第5回隊長・支隊長会議（11/29・土）

2 12月の活動計画

- ① 第9回支隊長会議（12/6・土）
- ② 支隊便り第18号発行（12/10・水）

AED訓練



3 せんげん支隊2014年度防災訓練の報告

11月16日（日）穏やかな秋晴れの下、せんげん公園にて第2回総合防災訓練が実施されました。防災隊員と外来者を合わせて51名、町田消防署南出張所からは所長の村山様を始め職員5名、消防団からは第二分団第六部の団員9名、合計65名により午後1:00～3:00までの2時間、スタンドパイプによる放水訓練、消火器訓練、AED心肺蘇生訓練、119番通報訓練それに炊き出し訓練と多彩な訓練を行いました。かなりの数の小学生も交えて皆さん熱心に取り組んでいただきました。

また、訓練の最後にはスタンドパイプのホース（20m）を5本接続し、100m先まで放水するデモンストラーションを行いました。放水の威力はホース2本の場合とほとんど変わらないことが証明されたと思います。せんげん支隊管轄区域には11カ所の消火栓があります。100m先まで放水ができれば区域全域をカバーできると確信しています。

また、当日は防災倉庫のいくつかの備品と、感震ブレイカーの実物（宇津木様作成）、約10名収容可能なテント（小原様寄贈）の展示も行いました。皆さん熱心に見学していただきました。

せんげん支隊の今年の主な活動は終了しました。皆様方には来年もご協力の程よろしくお祈いします。

4 感震ブレイカーとテントについて

防災訓練当日、感震ブレイカー（数種類ある感震ブレイカーの一つ）と、テントの展示をしました。感震ブレイカーについては未だ十分認知されていないようです。宇津木様に作成していただいた、詳細なパンフレットが数十部ありますのでご希望の方には差し上げますのでご連絡お願いします。

テントは非常時にせんげん公園で使用することになりますが、約10名を収容できますので、せんげん支隊の対策本部用として、また、避難者用としても使わせて頂きます。

5 震度6弱の地震のおそろしさ

11月22日（土）の午後10時過ぎに長野県白馬地方で震度6弱を記録する激震が発生しました。この地震では44名の方が負傷し（7名重傷）141棟の建物が被害を受けました。（全壊は47棟）報道によると、死者が1人も出なかったのは地域、消防などの連携が日頃からできていたから、ということです。改めて地域（近助）の大切さを教えられました。（裏面に続く）

震度6弱というのは、首都直下（多摩直下）地震の際に小川地区が襲われると防災隊が想定する地震です。地盤等も異なるので単純には比較できませんが、せんげん支隊管轄区域でも死者1名、負傷者12名、建物全壊10棟、半壊33棟、焼失9棟という甚大な被害が出ると想定されています。これに備えるには建物の耐震補強をする、家具の転倒防止を施す、自宅を火元にしないなどの自助努力がまず大切です。

長野の地震を教訓として日頃の備えを今一度見直してはどうでしょうか。